

市区町村名	福井県小浜市	担当部署	産業部 農林水産課
		電話番号	(0770) 64 -6024

1 取組事例名	
ジビエを使った学校給食の実施	
2 取組期間	
平成24年度～継続中（ジビエ給食は平成26年度より実施）	
3 取組概要	
<p>野生鳥獣が自然にもたらす影響や、海と山の関係について考える総合学習を行い、鳥獣被害の現状や対策、猟友会の役割等、幅広く理解を深めるとともに、総合学習の集大成として、捕獲したケモノの命を無駄にせず、山の恵みとして大切に頂くことを目的とした「ジビエ給食」を実施。</p> <p>学校給食を通じ、海と山とのつながりや、自然の大切さ、ジビエの美味しさを子供たちに伝えるとともに、今後、ジビエを食習慣としてなじみある食材とし、さらには将来の捕獲の担い手育成につなげる。</p>	
4 背景・目的	
<p>野生鳥獣による被害が全国的に深刻化しており、その対策の一つとして、増えすぎた個体数を早期に適切な個体水準まで削減するべく捕獲・駆除対策を実施している。捕獲頭数が非常に多いことなどから、処理施設により、焼却処分されている。一方、捕獲された野生鳥獣にも大切な命があることをから、捕獲された野生鳥獣の命を無駄にしないために、処理・加工された野生鳥獣の食肉（ジビエ）を有効活用するとともに、鳥獣被害の現状や対策及びジビエに対する理解を深めることを目的とする。</p>	
5 取組の具体的内容	
総合学習名：海と山は友だちプロジェクト	
【平成24年度（小学校1校）】	
<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の裏山での植樹活動（野生動物の餌となる堅果類の樹木を、山の猟師と海の漁師と一緒に植樹） ●野生鳥獣と鳥獣被害の実態についての勉強会、野生動物の足跡探検 ●野生鳥獣の巣箱づくりと設置 ●ジビエ料理の調理・試食 	 植樹  足跡探検
【平成25年度（小学校2校）】	
<ul style="list-style-type: none"> ●海に接する小学校と、川の上流にある小学校の生徒が相互に交流 それぞれの自然環境の類似点・相違点を発見しながら鳥獣被害の現状や対策を学ぶ ●野生鳥獣と鳥獣被害の実態についての勉強会、野生動物の足跡探検 ●ジビエ料理の調理・試食 	 調理・試食
【平成26年度（小学校2校）】	
<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年度からの総合学習の取り組みにより、県内初のジビエ給食を採用 （メニュー：ジビエカレー） 	 ジビエカレー

【平成27年度（小学校2校・中学校1校）】

●中学校1校を新たに加え総合学習を実施

野生鳥獣と鳥獣被害の実態についての勉強会及び、学校行事と併せて鳥獣被害現場の確認

●小学校2校

野生鳥獣と鳥獣被害の実態についての勉強会、野生動物の足跡探検

内1校の小学校で自らがジビエ料理のメニューを考案し、地域での振る舞いや学校給食に採用

地域の振る舞い：ジビエサンド・ジビエラーメン

学校給食：ジビエサンド



地域の振る舞い



勉強会の成果発表



生徒自らが考案したジビエ給食

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

① 総合学習の開催

生徒並びに学校関係者とともに、鳥獣被害の現状と対策猟友会の役割について理解を深めるための勉強会の開催。

② 猟友会の積極的な参画

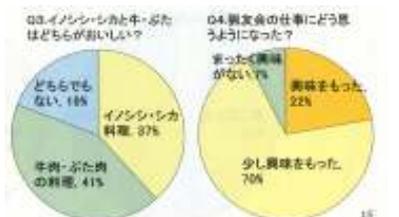
総合学習のフィールド活動や捕獲・駆除対策の必要性、ジビエ給食にむけた栄養教諭や調理員への調理研修会等、猟友会の積極的な参画。

③ 獣肉の品質確保

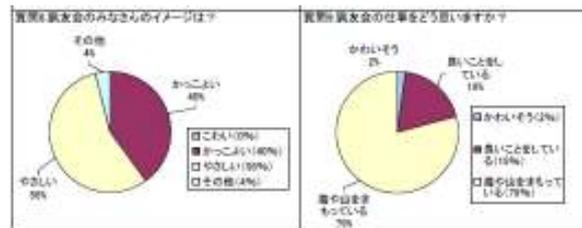
福井県が、「獣肉の衛生管理および品質管理に関するガイドライン」を策定し、作業工程ごとの衛生管理・品質確保および、処理した食肉についてトレーサビリティを確保するため、受け入れ個体に関する情報等を保管し品質管理に努めている。

7 取組の効果・費用

学校給食の採用までに、複数の組織と協働し総合学習を実施したことにより、鳥獣被害や対策の現状や対策、生徒自らが考案しメニュー化したジビエ料理を、地域の方々に振る舞いや学校給食への採用等、子供から大人達へ広がり、ジビエ料理への理解者が増えているとともに、猟友会が担う役割や社会的貢献度を広く周知できた。



平成24年度生徒27名よりアンケート調査



平成25年度生徒48名よりアンケート調査

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

学校給食の実施に当たっては、第1に保護者の理解が必要であり、1件でも反対意見があれば実施しないと前置きし、ジビエ給食の趣旨や安全確保の取り組み等について丁寧に事前説明した結果、全員からの賛同を得ることができた。

また、給食献立の作成に携わっている栄養教諭や学校栄養職員が、ジビエを調理し食べた経験がないことから、ジビエ料理研修会を実施し、ジビエの納入時の形態や鮮度判別方法、調理における留意点や衛生管理上の取り決め等、学校給食に求められる諸事項を行政と学校関係者とお互いに確認した。

ジビエ料理研修会や総合学習等、ほぼ全ての取り組みについて猟友会の協力があり、この協力の前提として、行政との信頼関係の構築が重要である。猟友会としては狩猟文化や狩猟の楽しみを次世代に引き継ぎたいという方針をもっており、小浜市としても猟友会の役割や社会的貢献度を広く市民に知ってもらいたいと考えていることから、お互いに連携を密にして取り組んでいる。

9 今後の予定・構想

平成27年度は市内の小学校2校、中学校1校でジビエ給食を実施したが、今後はさらに取り組みを拡大し、全小中学校において総合学習を実施した上でジビエ給食の実施を計画している。また、地元の高校や大学とも連携してジビエの普及に努め、今後、食習慣として馴染みのあるものとし、さらには将来の捕獲の担い手育成につなげたい。

10 他団体へのアドバイス

行政、猟友会、学校関係者が同じ目標に向かい事業に取り組む必要がある。そのためには、各団体との信頼関係の構築が必要であり、さらには、総合学習を通じ、鳥獣被害の現状や対策、獣肉の有効利用について、子供から大人へと理解を促すことが重要である。

今後も、地道な活動を行い鳥獣被害への理解やジビエの普及活動に努める。